

川崎市議会議員 いわくま ちひろ

連載100号を迎えて

民進みらい
川崎市議団
連載No.100



川崎市議会
議員

いわくま ちひろ

- 昭和50年生まれ 42歳
- 英国国立ウェールズ大学卒業 ロンドン大学大学院研究生 専門は国際政治学
- 国際派議員として、子どもから大人まで英語学とキャリア教育を教える。毎週日曜日は、イトーヨーカドー溝口店前で市政報告を継続中！(11年1ヵ月)

連載100号を迎えました。1年生議員の頃から続けてきた本コラムが、議員活動10年目の年にちょうど100号を迎えることができたのも一重にご愛読頂いている市民のみなさんから

の叱咤激励があったからこそと思います。10年間、コラム執筆を継続する中で最も大事にしてきたことは、**情報公開と説明責任を果たすこと**だと思います。

川崎市政において、行政がどのような事業や施策を展開しているのか？それは、きちんと市民目線に立脚したものなのか？など、市議会で行った行政との議論をしっかりとみなさんにお伝えするという観点を大事にして参りました。毎週日曜日に行っているイトーヨーカドー溝の口店前での街頭活動も同様です。国においてモリカケ疑惑が問題になりましたが、ワイドショー的な話ではなく一番大事な視点は、誰がどこで何を決定しているのか？政策の意思決定過程が全く分からないでは話になりません。行政との議論を通じて市民のみなさんへの情報公開を徹底してきました。

説明責任については、自分が議会で取り上げた課題についてなぜそれを取り上げたのか？意図、主旨、考え方など専門用語を多用するのではなく分かりやすくお伝えしてきました。議員の活動報告という点になると、「あれ、これを提案しました」など抽象的な報告になりがちですが、それがどのように具現化されたのか「結果」にこだわってきました。

本コラムでも繰り返し述べていますが、**議会議員の役割は、法や条例に基づいて行政機関へのチェック機能と政策立案機能を果たすことです。**行政と馴れ合いの議会運営をするのではなく、支援すべきところは支援し改めるべきところはしっかりと指摘する。二元代表制を強く認識しこれからも取り組んで参ります。

ご意見ご要望をお待ちしております。